

全国の学校と企業をつなぐ
オンラインキャリア教育プログラム



キャリアチャレンジデイ On-line Meets

2021年度 実施報告書



● はじめに

全国の学校および企業の皆様と連携してキャリア教育を推進する本プログラム「キャリアチャレンジデイ On-Line Meets」は、皆様のご協力のもと、2021年度は全国30校で実施することができました。

ご参加いただいた学校の教員・生徒のみなさん、ご参画いただいた企業の皆様、地方自治体単位で実施くださった教育委員会の皆様、また関心を寄せてくださった教育関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

また来年度もさらなる進化を遂げて、より拡大・発展していきますので、今後とも宜しく願いいたします。

最後になりましたが、本プログラムは経済産業省主催の第11回キャリア教育アワードにてコーディネーターの部で最優秀賞である「経済産業大臣賞」を受賞致しました。ご協力いただいた皆様に感謝するとともに、改めて御礼申し上げます。



● 目次

1. はじめに	P.1
2. 2020-2021年度実施スキーム	P.2
3. 2021年度 実績詳細	P.3
4. プログラム概要	P.7
5. 実施体制	P.10
6. 効果測定結果（抜粋）	P.11
7. 授業の様子	P.15

● 2020-2021年度実施スキーム

「キャリアチャレンジデイ」とは、東日本大震災の被害により、実施していた「職場体験学習」の受け入れ先が確保できなかった岩手県大船渡市でスタートしたキャリア教育プログラムです。さらに2020年度、「COVID-19」の影響により、多くの学校で「職場体験」の実施ができない状況にありました。弊社にも、「職場体験」に代わる取り組みについて全国の先生方から、ご相談が多数寄せられました。そこで株式会社キャリアリンクでは、GIGAスクール構想の推進の前倒し施策も踏まえて、企業と連携して全国の中学校へキャリア教育のオンライン授業を届ける「キャリアチャレンジデイ On-Line Meets」を企画・実施するに至りました。

コロナ禍による教育現場の課題と環境の変化

全国の中学校で
職場体験や課外授業の中止

企業も実施していた
教育支援や職場体験受入の中止



全国の小中学校での
GIGAスクール構想の推進

株式会社キャリアリンクならではのソリューション

全国の学校と企業・
キャリア教育コーディネーター
をつなぐオンライン授業で
教育格差の解決



全国の複数校をつなぐ
オンライン協働授業で
新しい学びの価値を提供

職場体験に代わる新しいスタイルのキャリア教育プログラム

地域の異なる3校と業種の異なる6企業を
1回の授業ごとにオンラインでつないで実施



キャリアチャレンジデイ
On-line Meets

講師の職種における「意志・役割・能力」を
にテーマに生徒からのインタビューを軸に構成

2020年度

試験運用 全4回実施 (11校)



2021年度

本格展開 全10回へ拡大 (30校)

● 2021年度 実績詳細

● 実施地域

 参加学校数

全国 **30校**



全国**20都道府県**から
30校の学校が参加

全10回（各回2コマ）の
授業を実施

約**3700名**の生徒が受講

北海道・岩手・福島・宮城・茨城
東京・長野・愛知・富山・石川
大阪・京都・兵庫・奈良・岡山・広島
福岡・熊本・宮崎・鹿児島

● 実施日程と実施校一覧

開催	実施日時	都道府県	学校	生徒数(名)
第1回	7月 9日 (金) (13:30-15:30)	東京都	港区立高松中学校	105
		広島県	尾道市立浦崎中学校	25
		兵庫県	南あわじ市・洲本市組合立広田中学校	50
第2回	7月16日 (金) (13:30-15:30)	東京都	西東京市立田無第四中学校	185
		愛知県	名古屋市立長良中学校	256
		宮城県	大崎市立古川北中学校	60
第3回	9月17日 (金) (13:30-15:30)	大阪府	能勢町立能勢中学校	55
		広島県	呉市立郷原中学校	55
		石川県	かほく市立河北台中学校	121

● 実施日程と実施校一覧

開催	実施日時	都道府県	学校	生徒数(名)
第4回	9月29日(水) (13:30-15:30)	愛知県	豊田市立猿投中学校	160
		富山県	富山市立杉原中学校	49
		岩手県	奥州市立水沢南中学校	175
第5回	11月5日(金) (13:30-15:30)	大阪府	松原市立松原第五中学校	143
		茨城県	龍ヶ崎市立長山中学校	96
		京都府	京都市立向島秀蓮小中学校	88
第6回	11月10日(水) (13:30-15:30)	大阪府	枚方市立津田中学校	244
		宮崎県	都城泉ヶ丘高等学校附属中学校	40
		長野県	諏訪市立諏訪中学校	86
第7回	11月17日(水) (13:30-15:30)	広島県	尾道市立高西中学校	139
		熊本県	熊本市立西原中学校	222
		鹿児島県	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校	120
第8回	11月26日(金) (13:30-15:30)	福島県	平田村立ひらた清風中学校	155
		岡山県	里庄町立里庄中学校	103
		福岡県	行橋市立仲津中学校	87
第9回	12月3日(金) (13:30-15:30)	愛知県	豊橋市立青陵中学校	225
		茨城県	茨城県立並木中等教育学校	160
		奈良県	広陵町立真美ヶ丘中学校	111
第10回	12月8日(水) (13:30-15:30)	大阪府	柏原市立柏原中学校	137
		東京都	中野区立第二中学校	105
		北海道	札幌市立真駒内中学校	121

● 参画企業一覧

全10回の授業実施に対して、**20企業・団体**、**25名**の講師が参画し
各開催日ごとに6企業に登壇いただき、2コマの授業を行ったため、
延べ**60名**が講師として当日登壇いただきました。



阪急阪神ホールディングスグループ



合同衛生

企業名	講師数	職種名
阪急阪神ホールディングス株式会社	1	鉄道技術者
阪急電鉄株式会社	1	建築士
ゾエティス・ジャパン株式会社	1	医薬品営業
株式会社ロッテ	1	マーケティング
大日本住友製薬株式会社	3	創薬研究
		創薬研究
		創薬研究
森永製菓株式会社	1	営業
株式会社東京証券取引所	2	広報
		広報
野村ホールディングス株式会社	2	社会貢献活動の推進
		CSR推進
一般社団法人日本船長協会	1	船長
鹿島建設株式会社	1	施工管理
カシオ計算機株式会社	2	事業戦略
		商品企画
トヨタ自動車株式会社	1	広告・マーケティング・事業企画
株式会社ギア	1	新規事業開発・企画
佐川グローバルロジスティクス株式会社	1	現場管理
三井化学株式会社	1	新規事業開発
ネットワンシステムズ株式会社	1	インストラクター
日本郵船株式会社	1	外航船員
合同衛生株式会社	1	広報
川崎重工業株式会社	1	CSR推進
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	1	事務

● 視聴教育委員会一覧

本プロジェクトに興味のある**24教育委員会・団体**の皆様には授業を視聴いただきました。

都道府県	教育委員会
岩手県	大船渡市教育委員会
茨城県	茨城県教育庁
茨城県	龍ヶ崎市教育委員会
千葉県	我孫子市教育委員会
東京都	中野区教育委員会
東京都	世田谷区教育委員会
愛知県	豊橋市教育委員会
兵庫県	南あわじ市教育委員会
京都府	京都市教育委員会
大阪府	枚方市教育委員会
大阪府	大東市教育委員会
大阪府	松原市教育委員会

都道府県	教育委員会
大阪府	能勢町教育委員会
奈良県	奈良市教育委員会
奈良県	広陵町教育委員会
広島県	尾道市教育委員会
広島県	呉市教育委員会
福岡県	行橋市教育委員会
宮崎県	宮崎県教育委員会
熊本県	熊本市教育委員会
鹿児島県	鹿児島市教育委員会
沖縄県	名護市教育委員会
沖縄県	北谷町教育委員会
東京都	早稲田大学大学院

● 広報発信

本プロジェクトについて、関係各所から総計**145件**の取材・発信が行われました。

メディア取材 **12件**

媒体名	発信元	取材先
中日新聞	株式会社中日新聞社	名古屋市立長良中学校
47NEWS	株式会社全国新聞ネット	名古屋市立長良中学校
東日新聞	株式会社東海日日新聞社	豊橋市青陵中学校
中国新聞	中国新聞社	尾道市立浦崎中学校
信濃毎日新聞	信濃毎日新聞株式会社	諏訪市立諏訪中学校
中日新聞	株式会社中日新聞社	豊田市立猿投中学校
長野日報	株式会社長野日報社	諏訪市立諏訪中学校
熊本日日新聞	株式会社熊本日日新聞社	熊本市立西原中学校
南日本新聞	南日本新聞社	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校
東海日日新聞	東海日日新聞社	豊橋市立青陵中学校
中日新聞	株式会社中日新聞社	かほく市立河北台中学校
北國新聞	株式会社北國新聞社	かほく市立河北台中学校

企業発信 **16件**

学校・教育委員会からの発信 **43件**

キャリアリンクからのプレスリリースメディア掲載 **74件**

●プログラム概要

職場体験にかわる、企業とつながるキャリア教育プログラム

全国の中学校でキャリア教育のための活動として定着している「職場体験学習」。コロナ禍において、活動自体の中止や指導内容の変更が余儀なくされている中、これまでの学びを止めることなく、学校と企業をオンラインでつなぐことで、実社会で活躍する多様な企業の方々と直接関わりながら学ぶ場を提供します。それが、「キャリアチャレンジデイ On-Line Meets」プログラムです。

●プログラム全体像



- 中学1～3年生対象
- ワークシート、ティーチャーズガイド、映像教材など授業に必要なツールを無償提供
- オンラインミーティングは6企業と3校を同時接続

全国の学校ともつながることで
他の学校の生徒の考えも
参考にさせることができました！



＜プログラム構成＞

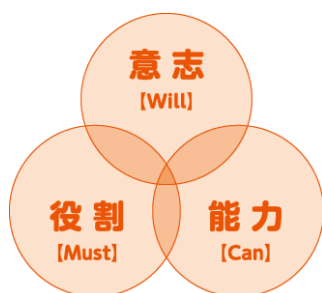


＜学習の流れ＞

オンラインミーティングでのインタビューに向けて、オンラインインタビューに必要なスキルを育成し、自身の興味・関心をもとに、より価値ある質問ができるよう検討・準備する。
オンラインミーティングの後には、講師に直接聞くことのできた内容を全体で共有し、自身のこれからの生き方の参考にします。

授業	内容	ねらい
①	業種・職種の理解	・「職業・職種」について知る。
②	インタビュースキルトレーニング	・インタビューをするときの態度や話し方を習得する。
③	インタビュー内容を考える	・目的を意識して、価値ある情報を引き出す質問の工夫を考える。
④	オンラインミーティング	・実社会で働く人とオンラインで接続し、インタビューを行う。
⑤	ふりかえり・まとめ	・インタビューレポートをまとめ、全体で共有し、ふりかえる。 ・自身の将来について考える。

●プログラムのねらいとオンラインミーティング



【役割理解】

・社会や会社における多様な業種・職種の役割とその重要性を理解する。

【能力育成】

・職業における必要な能力には、どのようなものがあるのかを理解する。

・*ICTを活用して協働する力を育成する。（※一人一台端末活用版）

【職業観・生き方に関する価値観】

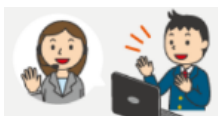
・多様な大人の生き方に関する価値観（「意志」「役割」「能力」）を参考に、自分が将来、生きていくために大切だと思うことは何かを明らかにする。

オンラインミーティング（1回＝1時間×2コマ）



講師トークパート （約25分）

企業講師が、会社の「意志」（理念・ミッション）や社会的「役割」、また講師自身の仕事や価値観（意志・役割・能力）について話をする。



生徒インタビューパート （約20分）

企業講師の話を聞いて、事前に調べた内容も踏まえ、企業講師に直接質問する。3校同時接続による他校の生徒の質問も聞くことができる。

企業講師とのオンラインミーティングで

多様な職業と、そこで働く人の「生き方」にふれることを通して
働くことについて考えるときに大切なこととは何かを明らかにし、
これからの「生き方」について考える。



企業講師

オンラインミーティングでは、SDGsに関連する実際の企業の取組についてもお伝えします！

★学びの効果を高めるサポート

講師への研修やトーク用スライド制作のアドバイスを通して、活動の内容に則した学習効果を担保。

オンラインミーティング共通の当日スケジュール

時間	実施項目
12:00～13:30	接続確認（学校・企業・コーディネーター）
13:30～14:20	5時間目（1コマ目）
14:20～14:30	10分休憩（ブース移動時間）
14:30～15:20	6時間目（2コマ目）
15:20～16:00	ふりかえり（企業・コーディネーター）

● GIGAスクールへの対応

一人一台端末活用プログラム

キャリアチャレンジデイ On-Line Meets 1on1

「ICTを活用して協働する力」を育成

Society5.0社会に適応した未来を生きる子どもたちにとって求められる資質・能力「ICTを活用して協働する力」を、「キャリアチャレンジデイ」の学習を通して育成する。

ICTを活用して協働する力

自分なりの
情報編集力

即時共有
共同編集
する力

言語化・可視化して捉え、
コミュニケーション
する力

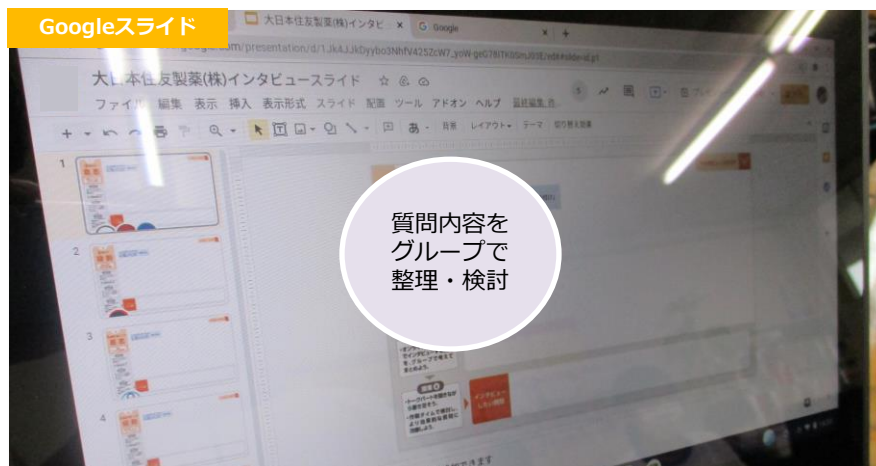


▲協働アプリケーションを使って
情報共有・共同編集する

Googleスプレッドシートやスライドなどの協働アプリケーションを活用して、場所や時間の制限なく、一人一人の意見を集約・発信し、共通の成果物を協働することで目的の達成をめざす。

Googleスプレッドシート		D	E	F	G	H	I
1							
2	人はなぜ働くのだろう？						
3	◆保護者や周りにいる大人は、「なぜ働いているのか」、今の自分の考えを書こう						
4	出席番号	授業①			授業⑤		
5		あなたの考え			あなたの考え		
6	2201	せいかつするため			いる人々の役に立つために、安心して生活してもらうために		
7	2202	自己肯定感や自尊心を保つため。また、			福な社会生活を営む手助けをするため。またそれにより自		
8	2203	他の人の役に立つため。生活をするため			や自尊心を保ち、自分自身も幸福な社会生活を営むため。		
9	2204	誰かのために。生活をしていくため。			自分の能力や長所を發揮し生きがいを得たり、社会へ貢献するた		
10	2205	生きるための必要事項だから			働く姿(努力している姿)がかっこいい		
11	2206	お金をもらい生活していくため			お金をもらうため 自分が決意したことをやり抜き、そして人の役に		
12	2207	お金を稼ぐため			自分の得意な事を發揮し、社会に貢献するため。		

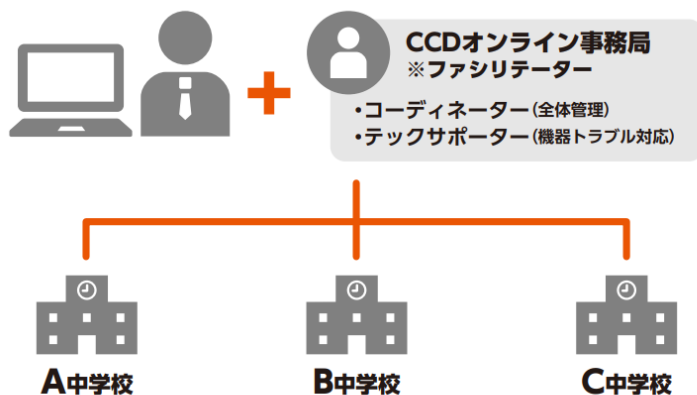
質問内容を
グループで
整理・検討



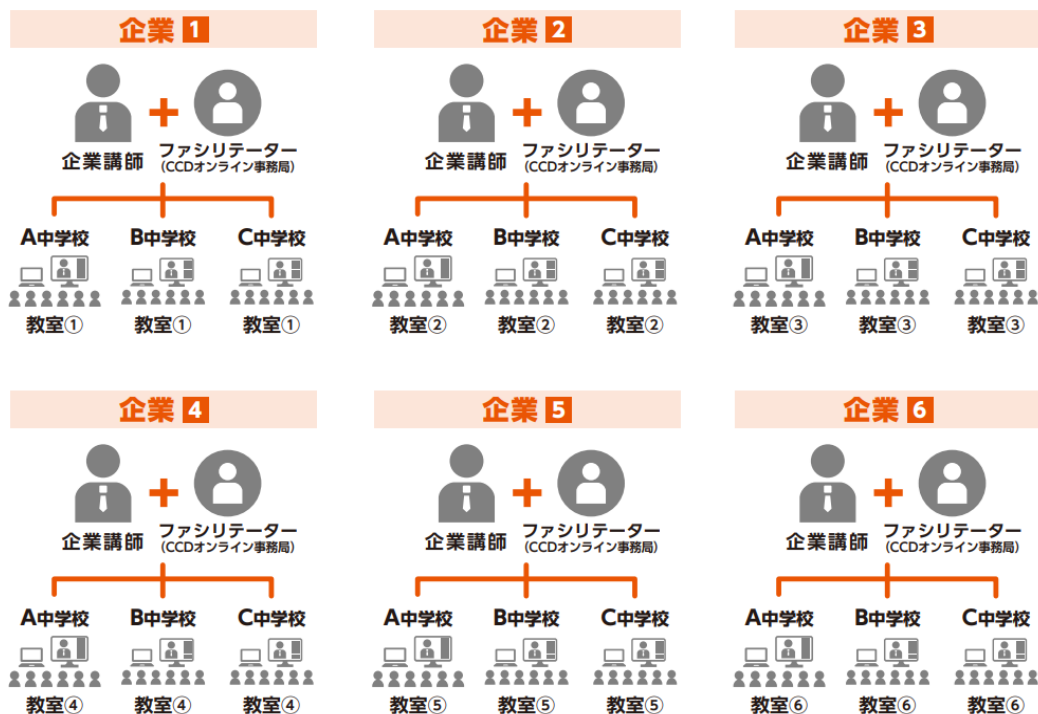
● 実施体制

企業講師の接続イメージ

オンラインツールを使って接続し、3校に向けて授業実施。



A中学校の接続イメージ



● 効果測定結果（抜粋）

● 調査概要（教員・生徒・講師）

本プロジェクトにおいて、教員・生徒には授業実施による資質・能力育成などの教育効果（基礎的・汎用的能力や職業観・勤労観の醸成）を測るため、アンケート調査をメインに効果測定を行いました。2021年度は効果測定の本格的実施初年度のため、本プログラムが基礎的・汎用的能力の4つのうち、どの能力に対して育成効果があるかの検証としました。また、講師にはプロジェクト参画の有効性やメリットについてアンケート調査を行いました。

調査項目と実施の流れ

調査実施項目	授業前	授業後
生徒アンケート	事前アンケート回答(3,124名)	事後アンケート回答（2,938名）
教員アンケート	—	事後アンケート回答（146名）
生徒・教員インタビュー	—	インタビュー実施（4校12名）
講師アンケート	—	事後アンケート回答（20社*26名）

※講師アンケートについては、講師以外に窓口となった関係者の方にもご回答をいただきました。

● 調査結果要約

生徒について



- 職業観・勤労観の醸成（考え方の自己認知）に対して**80%の生徒の考え方に変容あり**。
- 基礎的・汎用的能力のうち、特に**キャリアプランニング能力において向上**。
- 働く大人や働くことについて**肯定的な印象が増加**。また仕事や働くということについて、実施前は自分や生活を中心とした視点で捉えていたが、実施後は**社会視点（貢献、社会、役に立つ）や意志や使命感（やり遂げる、乗り越える）**で捉えるように視点が変化。

教員について



- キャリアチャレンジデイに**95.2%の教員が「満足している」と回答**。
- キャリアチャレンジデイ実施のメリットとして、**働く人の思いや価値観に触れられること、地域・距離的な限定なく多種多様な企業講師や全国の学校とつながれること、充実した内容や教育効果に対して準備・調整のしやすさ、他のキャリア教育との併用による教育効果の相乗効果**など、多くの意見あり。

講師について



- キャリアチャレンジデイに**100%の企業・団体が「満足している」と回答**。
- 地域の**教育格差を是正する社会的に価値のあるプロジェクト**と評価。
- キャリアチャレンジデイ実施のメリットとして、**オンライン実施で参加学校数・生徒数が多く、自社の認知度を高めるのに有効、また事前・事後授業により、授業当日の教育的価値が高い**という意見あり。

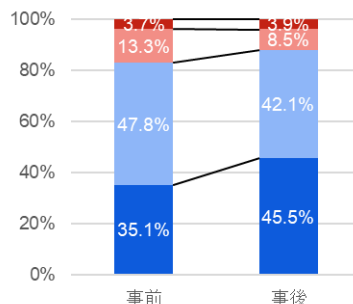
● 生徒アンケート結果要約



1. 仕事をするこの意味について自分なりの考えを持っている

- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- ややあてはまる
- あてはまる
- 合計 (N)

事前(3124名)		事後(2983名)		変化量
116	3.7%	114	3.9%	0.2%
417	13.3%	249	8.5%	-4.9%
1494	47.8%	1237	42.1%	-5.7%
1097	35.1%	1338	45.5%	10.4%
3124	100.0%	2983	100.0%	



● 基礎的汎用的能力のうち、キャリアプランニング能力に該当する設問において、事後に肯定回答が**9.7%**増加

16. 「働く人」「働く大人」はあなたにとってどういうイメージ・印象ですか？

※自由記述回答のテキストマイニング分析 (形容詞：緑、名詞：青、動詞：赤)

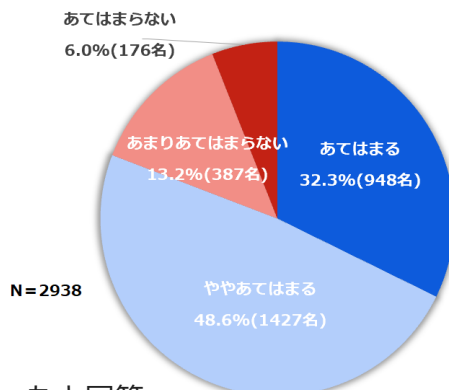
授業実施前によく出る	両方によく出る	授業実施後によく出る
多い 為 好き 難しい しんどい 素晴らしい 偉い 朝 自分たち 色々 ありがたい きつい 悪い 少ない めんどくさい 早い 高い 大きい おもう 怖い 欲しい 厳しい しまう 成り立つ いそがしい 苦しい 遅い こい すばらしい ほしい	ありがとう カッコいい 働く 頑張る イメージ 思う 仕事 すごい 大変 忙しい 持つ 印象 一生懸命 家族 責任 世の中 楽しい いい お金 できる 生活 くれる 良い 凄い 毎日 大人 支える 稼ぐ 努力 取り組む	社会 貢献 役に立つ 目標 よい やり遂げる 役割 未来 作る 向かう 果たす 動く 乗り越える 尽くす 新しい

●働く大人や働くことについて**肯定的な印象が増加**。また仕事や働くということについて、実施前は自分や生活を中心とした視点で捉えていたが、実施後は**社会視点（貢献、社会、役に立つ）**や**意志や使命感（やり遂げる、乗り越える）**で捉えるように変化

17. キャリアチャレンジデイを通して、働くことや将来についての考えに変化がありましたか？

- あてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- あてはまらない
- 合計 (N)

事後(2938名)	
948	32.3%
1427	48.6%
387	13.2%
176	6.0%
2938	100.0%



● **80%**が働くことや将来についての考えに変化があったと回答。

● 教員アンケート結果要約

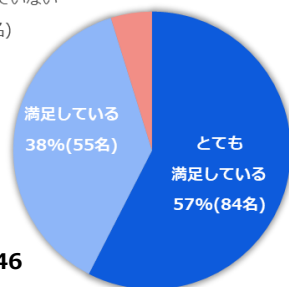


1. キャリアチャレンジデイの満足度を教えてください

- とても満足している
 - 満足している
 - あまり満足していない
 - 期待とはちがった
- 合計 (N)

事後(146名)	
84	57.5%
55	37.7%
7	4.8%
0	0.0%
146	100.0%

あまり満足していない
5%(7名)



● **95.2%**が本プロジェクトに満足していると肯定的な回答

2. 1.で回答した満足度の理由を教えてください。

色々な業種の企業から、一度に話を聞く機会が持てて良かった。**職場体験ができない中で現場の人の話を聞くことは、生徒にとっては貴重な時間だった**と思う。

内容が充実している。ワークブックもレベルが高い。**企業の方々のスキルがすごい。想像してた以上に情報を提供してくれて、びっくりした。**

当校は過疎になりつつある地域です。ただでさえ大人と関わる機会というものが少ないです。そんな中で見知らぬ社会人と触れ合う機会はとても貴重です。**授業の時間外などにも企業さんの話などをしている様子からもそのように感じられました。**

地方在住では普段なかなか接することのない**多くの企業の方と交流ができ、生徒の「働く」ことに対する知見はもとより視野を広くもつことの契機**となった。自分たちで考えることから始まり、学びを重ね、本番を迎え、事後に再度考え、次は自分たちで学んだことを発信していく、という**大変有意義な学習の流れが作られていて、生徒自身の学びを深めるのに大変有効**だった。

5. 3.で選んだ内容や4.でお答えいただいた内容について、それには、プログラムのどのような学習内容や手立てが有効だったと考えますか。

カリキュラム・教材について

意志・役割・能力という
統一した切り口

事前の質問検討と
当日のインタビュー実施

実施前後で
比較可能な
ワークシート

実施体制について

3校同時接続による
多様な質問と相乗効果

1回2コマで生徒一人が
2企業の話聞けること

当日までの
接続サポート

講師について

講師の仕事への思いや
価値観の伝達

講師の授業水準の高さと
質疑応答の丁寧さ

地域の枠を超えた
企業との交流

● 満足度の理由について、カリキュラムや実施スキームも含めて本プログラム独自の
特徴が評価の理由になっている

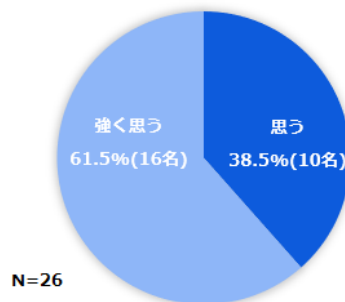
● 講師アンケート結果要約



1. 「キャリアチャレンジデイOn-Line Meets」へ参加されて、良かったと感じましたか

- 強く思う
- 思う
- あまり思わない
- 思わない
- 合計 (N)

事後(26名)	
16	61.5%
10	38.5%
0	0.0%
0	0.0%
26	100.0%



● 講師の**100%**が本プロジェクトに参加してよかったと肯定的な回答

講師の声

本イベントの実施にあたり、**学校も企業も地域に囚われることなく参加が出来る**ため、オフラインで実施するイベントのように**地域による教育格差の解消の一助になる**と感じた。

オンラインを通じて、**多くの業界・職種の講師、さらにはその他の学校の生徒といった様々な人の考えを聞くことにより、生徒の視野を広げることができる点に可能性を大きく感じた。**

私自身も自社の理解を深めることができ、自分のキャリアについて振り返るいい機会となった。

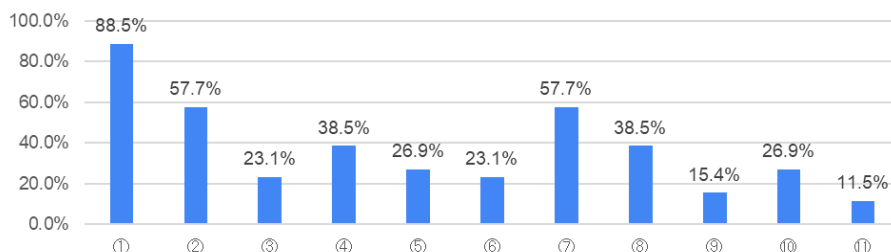
事前学習を行っていることから、生徒たちの理解度も高く非常に貴重な時間となった。

4. 複数企業参加による「キャリア教育支援」という今回の実施スキームについて、どのような点がメリットだと感じられましたか ※複数選択可能

- ①オンラインでの実施により、同時にアプローチできる学校数・生徒数が多い
- ②教員の事前・事後授業プログラムがあることで、授業当日の教育的価値が高い
- ③教材開発や接続テスト等にかかるコスト、時間を抑えることができる
- ④事務局業務（学校開拓・学校調整）の負担が少ない
- ⑤他社との情報交流ができる
- ⑥キャリア教育をテーマとしたプログラムのため、自社のブランディングに有効
- ⑦一度の参加生徒数が多く、自社の活動の認知度を高めるのに有効
- ⑧企業講師自身が、自社について理解を深める機会とし人材育成につながる
- ⑨複数企業が参加するため、社会的価値、広報効果が高い
- ⑩一社で実施するよりも、教育委員会や学校の協力・賛同を得やすい
- ⑪その他（自由記述）

人数	割合
23	88.5%
15	57.7%
6	23.1%
10	38.5%
7	26.9%
6	23.1%
15	57.7%
10	38.5%
4	15.4%
7	26.9%
3	11.5%
26	

合計 (N)

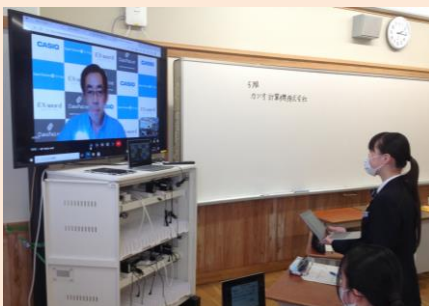


● **1回でのアプローチ校数の多さ、またカリキュラムの教育効果について評価が高い**

● 授業の様子

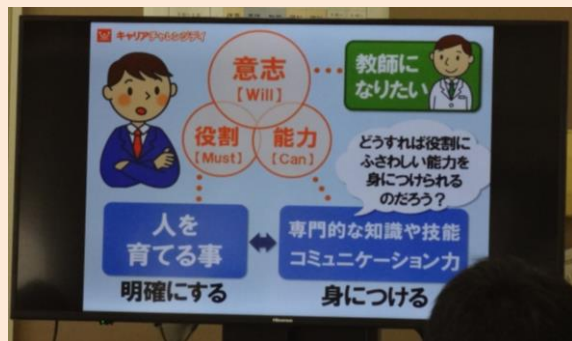
● 授業当日

オンライン授業当日は、企業・団体講師の話をメモをとりながら真剣に聞き、また講師の話のあとには事前授業での学びを踏まえて、会社や仕事についての質問を積極的に投げかけていました。



● 事前授業

事前授業では企業の業種や働く人々の役割（職種）について、またインタビューの方法や質問内容について、先生方が各校のカリキュラムに合わせて実施しました。



● 事後授業

自身が聞いた講師の話をクラスで共有し、自分が聞いていない講師の話についても情報交換をして、これから自分が大切にしたい意志・役割・能力についての授業を実施しました。



本プログラムで提供している授業パッケージだけでなく、各校で独自にカリキュラムを設定し、学びを
発展させた学校もありました。

[illegible]

17

● 発展授業

[illegible]

出題番号	授業① あひだの考え	授業② あひだの考え
1	お金を稼ぐため。生活するため。自分のしたいことをするため。自分のため。	働く意味や時間をどう使うか(ことと自分や世間)にはどのような関係があるか。世や時代、お金についてどう思うか(意見)を述べよ。とお金だけでなく他人との関係や大層にするため。
2	お金を稼ぐため。社会のため。楽しむ(生活)するため。生活するため。	社会に貢献してその結果安全に使い生活するため
5	お金を稼ぐことで不自由のない豊かな暮らしを送るため。	人々の暮らしを快適にするため
6	生きるとに必要なお金をもつため	・お金を増やすため・社会に貢献するため・世界を笑顔にする・やがてい
8	達成感や味わいのため。お金を稼ぐため。	お客の笑顔のため。社会のため。自分のため。夢や目標のため。
9	お金を稼ぐため。生活するため。	お金を稼いり。生活したり。自分の目標を実行するため。
10	ただただ働くのではなく本当の自分を见つけるため。	みんなのため。人のために働き続けている。
11	お金を稼ぐため やがていをするため	世のため人のため お金ののため
12	社会を貢献するため	やがてい。社会に貢献するため
13	生活ややがていを感じるため	自分の目標のため。社会に貢献するため。お金をもつため。
14	「お給料立ててお金のため」 お金の目的のため「自己満足」「国に立ってあげたお金のため」	お金・自己投資・年金・社会の運営・誰かのため
15	働くのむねは報酬、働いたのが手取り賃金。あと、お金欲しいから	集むため、自分の成長のため、社会の一翼のため。お金のため。
16	生活するために金が必要で 老後のため	社会に貢献するため。他人のため。お金のため。

話を聞いた2つの企業の内容で、
共通することを見出したり、
オンライン授業で講師の話を書く前後で、
仕事で大切だなと思うことを比較
などして学びを深めていました！

一人一台端末をいかして、
企業・団体講師の話や
情報をプレゼンテーションに
まとめました！
また自分たちの将来について
も話し合いました。



キャリアチャレンジデイ

オン ライン ミーツ On-line Meets

「キャリアチャレンジデイ On-Line Meets2021」運営事務局
株式会社キャリアリンク
〒540-0026 大阪府中央区内本町1-3-5 いちご内本町ビル4階
TEL : 06-6946-7370 / FAX : 06-6946-7360
担当 : 水田・野呂・松本